

## 令和5年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	市民ネットワーク
議 員 名	中重 伸夫、分野 達見、岡田 直己
議員派遣先名	地方議員研究会（新大阪丸ビル別館） 滋賀県守山市

### 派遣費用

科 目	支出額	摘 要
研修・研究費	90,000 円	出席者負担金・受講料等
研修・研究費	880 円	振込手数料
調査費	124,020 円	旅費
調査費	2,386 円	視察先への土産代
合 計		217,286 円

### 1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

本市は、自転車を活用したスポーツ振興及び地域の活性化を図ることを目的として、プロの自動車ロードレースチームである「ビクトワール」と協定を締結し、各種イベントを開催しているが、一時的な効果であり、地域活性化に繋げるには更なる工夫が必要である。守山市では、自転車を中心とした観光振興により、地域一体となった先進的な活動を展開していることから、活動内容を調査・研究するため、現地視察を行った。また、会派内では新人議員もいることから、議員の資質向上を目的として、質問方法などについての講座を受講した。


### 2 実施概要（1カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	大阪府大阪市 新大阪丸ビル別館
令和5年5月15日 10:00～16:30	担 当 部 局	地方議員研究会
<p><b>【報告内容】</b></p> <p>講師：村山祥栄氏（元京都市議会議員）</p> <p>講座内容は、以下の2項目で自身の経験を例題に議会での質問ポイントについて講演を受けた。</p> <p>1. 「絶対的質問力」について（10:00～12:30）</p>		

<p>報告内容・所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表質問（一般質問のポイント） ⇒ 市民、議員、当局へ周知したい内容の質問を行う。</li> <li>・委員会質問のポイント ⇒ ラリーが最適な質疑を行う。</li> <li>・ネタ探しのポイント ⇒ みんなの不満を形にする、トレンドを掴む。</li> <li>・ゴールを決める ⇒ 「こうしたい、こうすべき」の提案型で、調査の前に仮定・結論を。</li> <li>・質疑における注意点 ⇒ 準備は入念に時間をかけて行う、一度きりで終わらせない。</li> </ul> <p>2. 「質問作成虎の巻」について（14：00～16：30）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一目置かれる質疑とは ⇒ 数字を織り交ぜる、理論構成がしっかりしている。</li> <li>・切り返しのポイント ⇒ 条文や過去の答弁を活用する。</li> <li>・ブランディング ⇒ 専門分野の質問に特化していくこと。</li> <li>・政策実現に向けて ⇒ 手練手管を駆使できる議員は一目置かれる。</li> <li>・質疑を活かした広報の向上 ⇒ 自分にしか書けない原稿を！独自の情報、独自の視点が重要。</li> </ul> <p>【所感】</p> <p>講座を受講することにより、質問のポイントや広報によるアウトプット方法についての理解を深めることができた。</p>
<p>市政に活かせること（まとめ）</p>	<p>講師の実体験を元に説明をされるため、とても理解しやすい講座でした。</p> <p>まず、質問づくりの心構えとしては、理想と現実の差異（課題）を理解するだけでなく、その解決策を調査・研究していくことが必要であることを学びました。また、ネタ探しでは、市民の方が今、何に注目してどんな情報を必要としているのか、トレンドを掴むことが重要であることを学びました。</p> <p>次に、質問の作り方として、情報収集は、ヒアリングやアンケート調査など独自の情報を入手することの必要性を学びました。また、専門分野の質問に特化していくことなど、ブランディングをすることに加え、質問内容を広報等で幅広く周知していくことが重要であることを学びました。</p> <p>今回の講座で学んだことを今後の一般質問や委員会質問で活かしていきたいと考えています。</p>

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。

2 実施概要 (2カ所目)

<p>実施日時</p>	<p>派遣先</p>	<p>滋賀県守山市 守山市役所 第1委員会室</p>
<p>令和5年5月16日 10:00~14:00</p>	<p>担当部局</p>	<p>都市経済部 商工振興課</p>
<p>報告内容・所感</p>	<p><b>【報告内容】</b></p> <p><b>1. 当日の次第 (10:00~12:00)</b></p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・守山市議会副議長 赤淵 義誉 氏</li> <li>・三原市議会 中重 伸夫</li> </ul> <p>(3) 研修「自転車活用推進計画等について」</p> <p>(4) 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三原市議会 岡田 直己</li> </ul> <p><b>2. 研修内容：「自転車活用推進計画等」について</b></p> <p>(1) 守山市の概要</p> <p>琵琶湖の南東部を形成する湖南平野の中央部に位置する、極めてゆるい傾斜をもつ平坦な都市。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積：55.74 km<sup>2</sup></li> <li>・人口：85,655人 (令和5年4月)</li> <li>・世帯数：34,678人 (令和5年4月)</li> <li>・市の木：「クスノキ」 → <a href="#">三原市と同じ</a></li> <li>・市の花：「妙蓮」</li> <li>・職員数：533人</li> </ul> <p>大都市のベッドタウンとして成長しており、近年は毎年500人程度人口が増加している。</p>  <p>(2) 自転車活用推進計画</p> <p>「健康・環境」「安全・安心」「道路・交通整備」「観光・地域経済の振興」さらには、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」の実現を目的として制定した。</p> <p>◇守山市の地方創生総合戦略</p> <p>&lt;第一期 (平成27年~令和2年)&gt;</p> <p>最大の柱：自転車を軸とした観光振興</p> <p>目的：湖岸リゾートエリアの活性化</p>	

テーマ：「ビワイチの発着地のまち守山」

→ 自転車を含む「琵琶湖アドベンチャーツーリズムの発着地」

### 【成果総括】

○守山、琵琶湖が活性化

- ・ビワイチサイクリスト数が増加  
⇒ 平成27年：5万2000人 → 令和元年：約11万人へ！（約2倍）
- ・民間投資も活況を呈す  
⇒ 民間投資が進み、サイクリスト受入れへの理解も進んだ。
- ・国は「ビワイチ」を第一次ナショナルサイクルルートに指定  
（他は「しまなみ海道」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」）  
⇒ 道路環境含む受け入れ体制整備に向け、取り組みが加速している。

<第二期（令和3年～令和5年）>

最大の柱：起業支援・企業誘致

目的：人に焦点を置いた施策の展開

テーマ：「起業家の集まるまち守山」

→ 「守山市をハブに起業家1000人集まるコミュニティの形成」


○自転車から始まった地方創生は新たなステージへ

- ・起業家、民間人材誘致  
⇒ 自転車大使制度、ロゴスと協定、シンポジウム開催
- ・民主導のイベント誘致  
⇒ トライアスロン大会の開催、民間企業による様座な企画・イベント開催
- ・更なる市民活動・民間投資の誘致  
⇒ モニュメントの整備、文化・スポーツの振興

◇補助金制度（自転車購入補助金）

地域の活性化、環境負荷軽減、健康づくりなどを目的として、一定の条件のもと対象となる自転車を購入する費用に対して補助を行っている。

補助対象自転車	規格	補助金額(率)	条件
幼児同乗用自転車	一般社団法人自転車協会が定める「自転車協会認証」対象の自転車であって幼児が同乗できる座席を装備しているもの	上限7,500円 (20%)	申請時に満6歳未満の幼児と同居
シニア向け自転車	三輪自転車 または「自転車協会認証」対象の自転車 ※安全基準を満たす全ての車種に補助を行います		申請時に満60歳以上
電動アシスト自転車	道路交通法施行規則（昭和35年総理府令第60号） 第1条の3に定める基準を備えたもの	上限15,000円 (20%)	—
スポーツ用自転車	日本工業規格（JIS）D9111：2016 一般用自転車（スポーティ車）に分類されるもの スポーツ専用自転車に分類されるもの		購入費用7万5千円以上

	<p><b>3. 守山市「シニアコース」試走（13：00～14：00）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・守山市自転車マップにある4コースのうち、「シニアコース」の一部を試走した。</li> </ul> <p>「シニアコース」概要</p> <p>距離：約11.3km</p> <p>所要移動時間：約61分</p>  <p>【所感】</p> <p>守山市自体に大きな観光資源はないが、大都市のベッドタウンとしての環境を利用することと、民間企業とうまく連携することにより、市の発展に繋がっていると感じた。</p>
<p>市政に活かせること（まとめ）</p>	<p>守山市は、成功している自治体のやり方を徹底的に学び、田園が多いことや高低差24mといったサイクリングに適している地形を利用するなど、市の特色を活かした取り組みを実施しており、自転車を軸とした、スポーツ振興、観光振興に加え、宿泊施設などの企業誘致、道路整備まで発展していました。</p> <p>そして、その背景には、民間の大企業（GIANT）の誘致が契機となっており、企業だけでなくメディアとの連携が大きな広告となっていることを知りました。</p> <p>また、サイクルマップはプロのチームが考案し、スマホサイズで完全防水仕様となっており、サイクリスト目線で制作されていました。</p> <p>更には、イベント参加者がマンネリ化しないように各市町とも連携してイベントを開催していました。</p> <p>本市においては、プロチーム「ビクトワール」と連携して、スポーツ振興を推進していますが、メディアを活用しながら更に広告していくことと、民間のサイクルチームとも連携しながら、積極的にイベントを開催すれば、地域の活性化にも繋がっていくのではないかと考えています。</p> <p>更に、近年では、自転車による事故が多発していることから、保険の義務化やヘルメットの着用を推進していることから、それに対する補助を行うことや、脱炭素社会の実現と健康づくりを考慮した自転車通勤・通学の推奨などを行えば、更なる、スポーツ振興を図れるのではないかと考えています。</p>

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。